

令和 7 年度 事業計画

1 事業促進活動

市町の建設事業の推進について、県及び道路、河川、砂防、港湾等の全国団体と連携しながら、関係機関や関係者に提言、要望活動を行う。

2 研修活動

市町の技術的自立を目的に、土木関係職員の技術力向上を支援するため、次の研修を実施する。

- ・ 全体研修（基礎知識習得研修、実務処理能力向上研修）
- ・ 出張研修（各市町のニーズに応じ、市町単独又は地域単位で実施）
- ・ 特別研修（工事監督及び意識啓発に関する研修）

3 技術支援活動

市町の実情に応じ、各市町が必要とする業務を受託支援する。

令和 7 年度 受託事業計画

(千円：税抜)

区 分	令和 7 年度 受託額 (a)	令和 6 年度 受託額 (b)	増 減 (a-b)
総括監理業務 (積算・施工管理等)	36,873 (8市町)	22,118 (6市町)	14,755
アセットマネジメント支援業務 (長寿命化修繕計画策定)	27,958 (4市町)	31,862 (3市町)	△3,904
アセットマネジメントシステム運用業務	11,990 (広島市を除く 22 市町)	7,650 (広島市を除く 22 市町)	4,340
積算システム運用業務 (データ提供)	8,360 (8市町)	7,092 (8市町)	1,268
積算システム運用業務 (システム運用)	77,604 (16市町 2 団体)	74,280 (16市町 2 団体)	3,324
工事中情報共有システム運用業務	74,500 (18市町 1 公社)	61,324 (14市町 1 公社)	13,176
計	237,285	204,326	32,959

受託業務の実施に当たっては、市町職員の実務能力が向上するよう、市町と協議・調整しながら実施していく。

システム運用業務については、業務の効率化やコスト縮減を目的とし、スケールメリットを活かしたシステムの共同利用を推進する。

4 その他の活動

研修情報や技術関連情報の提供など、市町職員の利便性の向上と業務の効率化を図るため、協会ホームページを運用する。

なお、本来業務に支障のない範囲で、市町以外の建設事業の実施団体に対しても、上記事業を実施し、収益の確保に努める。

令和7年度収支予算書

令和7年6月1日から令和8年5月31日まで

一般社団法人 広島県土木協会

(単位：円)

科 目	当年度 (a)	前年度 (b)	増 減 (a-b)	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
特定資産運用益	1,001,000	731,000	270,000	
特定資産受取利息	1,001,000	731,000	270,000	
受取会費	12,400,000	12,400,000	0	
正会員受取会費	12,400,000	12,400,000	0	
事業収益	237,285,000	204,326,000	32,959,000	
受託事業収益	139,331,000	115,304,000	24,027,000	
電算事業収益	97,954,000	89,022,000	8,932,000	
受取負担金	4,240,000	4,240,000	0	
受取負担金	4,240,000	4,240,000	0	
雑収益	50,000	4,000	46,000	
受取利息	50,000	4,000	46,000	
経常収益計	254,976,000	221,701,000	33,275,000	
(2) 経常費用				
事業費	264,903,000	248,654,000	16,249,000	
支払報酬	2,164,000	2,236,000	△ 72,000	
給与手当	69,384,000	63,014,000	6,370,000	
福利厚生費	12,208,000	11,718,000	490,000	
退職給付費用	784,000	4,410,000	△ 3,626,000	
会議費	562,000	412,000	150,000	
旅費交通費	4,342,000	4,615,000	△ 273,000	
消耗品費	4,812,000	3,444,000	1,368,000	
印刷製本費	541,000	541,000	0	
燃料費	294,000	294,000	0	
光熱水料費	540,000	540,000	0	
修繕費	148,000	246,000	△ 98,000	
通信運搬費	2,658,000	1,144,000	1,514,000	
手数料	22,985,000	24,649,000	△ 1,664,000	
保険料	140,000	80,000	60,000	
委託費	60,000	98,000	△ 38,000	
賃借料	9,371,000	8,962,000	409,000	
支払負担金	133,297,000	121,939,000	11,358,000	
租税公課	613,000	312,000	301,000	
管理費	3,298,000	3,153,000	145,000	
支払報酬	302,000	292,000	10,000	
給与手当	1,416,000	1,286,000	130,000	
福利厚生費	250,000	240,000	10,000	
退職給付費用	16,000	90,000	△ 74,000	
会議費	821,000	811,000	10,000	
旅費交通費	6,000	47,000	△ 41,000	
消耗品費	71,000	43,000	28,000	
印刷製本費	11,000	11,000	0	
燃料費	6,000	6,000	0	
光熱水料費	11,000	11,000	0	
修繕費	3,000	5,000	△ 2,000	
通信運搬費	43,000	12,000	31,000	
手数料	80,000	74,000	6,000	
保険料	2,000	1,000	1,000	
委託費	2,000	2,000	0	
賃借料	159,000	166,000	△ 7,000	
支払負担金	5,000	3,000	2,000	
租税公課	94,000	53,000	41,000	
賞与引当金繰入額	8,200,000	7,800,000	400,000	
経常費用計	276,401,000	259,607,000	16,794,000	
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 21,425,000	△ 37,906,000	16,481,000	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	△ 21,425,000	△ 37,906,000	16,481,000	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
税引前一般正味財産増減額	△ 21,425,000	△ 37,906,000	16,481,000	
法人税等	71,000	101,000	△ 30,000	
当期一般正味財産増減額	△ 21,496,000	△ 38,007,000	16,511,000	